

油木高校へ島根県吉賀町より視察訪問
～中高連携教育の取組み状況について

保護司と町内小中高高等学校との交流会
＜時：2月13日 於：油木高校＞

連携型中高一貫教育支援会議研修会
～島根県飯南町の取組みに学ぶ～

三学期の中高連携教育に係る取組み状況



中高連携のテーマ「共創の教育で、町の未来を拓く生徒の育成」



町内中学生のために、油木高校英語の先生に指導いただいて「高校英語入門講座」を開設しました。



油木高校産業ビジネス科による「技術科」出前授業（油木中）で、ラジコンヘリの仕組みと操作を学びました。

「神石高原町 連携型中高一貫教育支援会議」とは

***規約より主なものを抜粋**

(目的)
第2条 この会は、持続可能な教育システムを構築していくために、広範なる町民の理解と支援体制の確立によって、神石高原町内の中学校と広島県立油木高等学校との連携型中高一貫教育を実現させ、更に推進していくよう支援することを目的とする。

(事業)
第3条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
1 関係各機関と情報交換などを行い、緊密な連携を図る。
2 町民の理解や協力を得るための活動を行う。
3 連携型の学校教育活動を支援する。
4 その他、この会の目的を達成するために必要な諸活動を行う。

(組織)
第4条 この会は、本会の目的に賛同する神石高原町内の組織団体並びに有志をもって組織する。

(役員)
第5条 この会に、次の役員を置く。
1 会長 1名 神石高原町長
2 副会長 4名 油木高校を育てる会代表（町議会議長）、青少年育成神石高原町民会議会長、自治振興連絡協議会会長、神石郡PTA連合会会長
3 監事 2名（役員推薦により会長が委嘱する）
4 理事 若干名 教育委員長、町議会議長、教育委員会委員、油木高校を育てる会副会長、油木高校PTA会長、青少年育成神石高原町民会議副会長、自治振興連絡協議会副会長、神石郡PTA連合会副会長

③・神石郡PTA連合会副会長

一月二十六日文科科学省にて伝達式が行われました。

この賞は、キャリア教育の充実発展に尽力し、功績が認められる学校等に行われるもので、本年度高校の部においては、全国で26校（県内1校）が受賞されました。本当におめでとうございます。

油木高校が「キャリア教育優良学校 文科科学大臣表彰」を受賞

神石高原町長への受賞報告

平成二十四年度県立油木高校 入学選抜志願状況

選抜Ⅰの志願状況			
学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	12	9	0.75
産業ビジネス	12	4	0.33

選抜Ⅱの志願状況			
学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	31	12	0.39
産業ビジネス	36	19	0.53

選抜Ⅰ・選抜Ⅱの総志願状況			
学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	40	21	0.53
産業ビジネス	40	23	0.58

昨年11月に町内各種団体のご理解とご協力により「連携型中高一貫教育支援会議」が設立されました。

ケーブルTVの撮影

先進的な取組みで成果を挙げられている島根県飯南町の方々を講師に、研修会を開催しました。

神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会

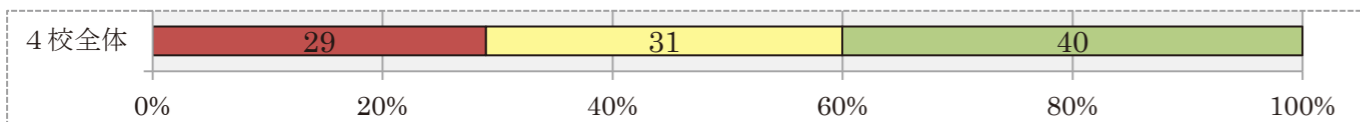
永野南のそば畑

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

昨年 11～12 月に町内の全中学生(215 人)・小学校 4～6 年生保護者(199 人)・中学校保護者(180 人)・油木高校生(183 人)を対象として、見出しのアンケート調査を実施しました。その結果の一部を紹介します。(町広報 2 月号にも一部掲載しています)

中学生編

● (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。 ① 思う ② 思わない ③ わからない



(2) 「① 思う」と答えた人で、その理由は何ですか。 ㊦：()内は人数です。

- ① 通学に便利 (50) ② 自分の希望 (34) ③ 親・家族の薦め (23) ④ クラブ活動 (19)
- ⑤ 教育内容面 (12) ⑥ 友人関係 (9) ⑦ 進学・就職に有利 (7) ⑧ 寮がある (6)
- ⑧ 施設設備がよい (6) ⑨ 通信衛星授業 (4)

(3) 「② 思わない」と答えた人で、その理由は何ですか。 ㊦：()内は人数です。

- ① 高卒後の進路面 (23) ② クラブ活動 (16) ③ 希望学科なし (14) ④ 教育内容面 (13)
- ⑤ 施設設備面 (11) ⑥ 通学が不便 (9) ⑦ 友人関係 (9) ⑧ 他校希望 (9)

(4) 「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択で重要視したいことは何ですか。 ㊦：()内は人数です。

- ① 通学便 (55) ② クラブ活動 (47) ③ 教育内容 (34) ④ 進路実績 (33)
- ⑤ 友人関係 (28) ⑥ 親・家族の薦め (20) ⑦ 伝統校風 (19) ⑧ 施設設備面 (12)

● 考察 ・油木高校への進学希望者(29%)が非常に少ない。今後益々中学校卒業生数が減少する中、大変厳しいものがある。

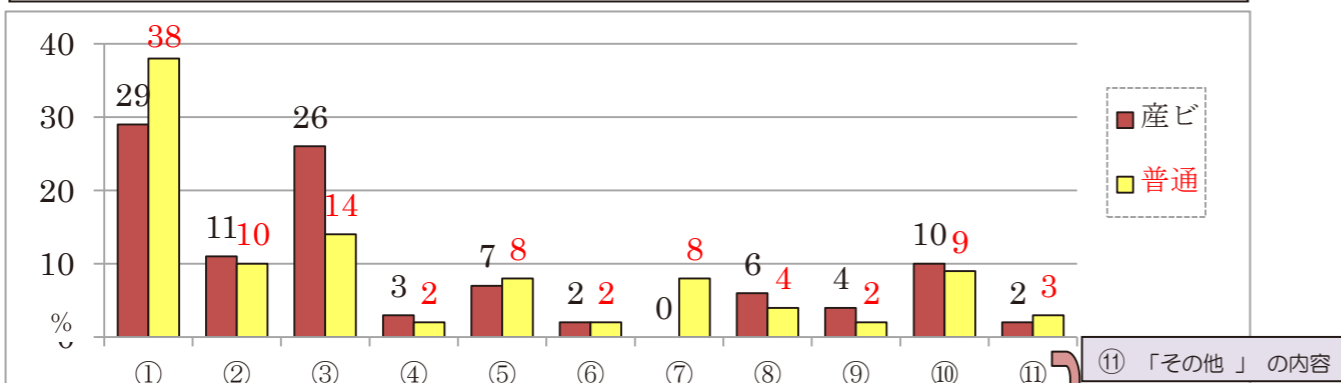
・「わからない」が40%と一番多いだけに、今後とも油木高校の特長をアピールしていく必要がある。

・「思わない」理由で、「高卒後の進路面」が一番多い。しかし、油木高校は大学進学や就職面で決して他校に負けない実績を築いている。油木高校だからこそ築けた実績でもある。また、「クラブ活動」においても、地域を挙げて応援し、小規模校ながら活躍しているクラブもあり、生徒は充実感をもって頑張っている。これらの事を十分アピールし、理解を得るよう取り組む必要がある。

高校生編

● あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 自宅から近い ② 親・家族の薦め ③ 自分の希望 ④ 教育内容面 ⑤ クラブ活動面
- ⑥ 寮がある ⑦ 通信衛星授業がある ⑧ 進学就職に有利 ⑨ 評判 ⑩ 友人関係 ⑪ その他

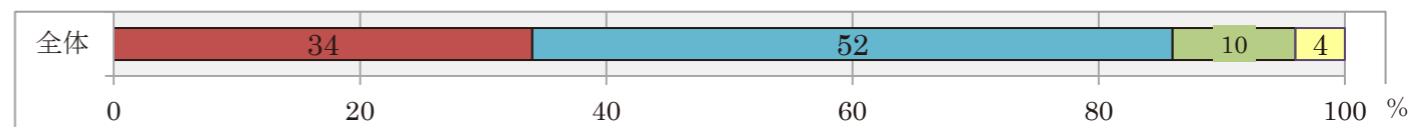


・学科に興味があった(2人) ・行事面に興味があった(2人) ・自分の学力に相応(2人) ・経費面が少ない(2人)

● 考察 産ビ・普通科共に最も多かったのは、「自宅から近い」で、地元高校を是非とも存続させていく必要がある。

● 通信衛星授業を受けてみての感想はどうか。 [受講者 81 人 (普：63 人, 産ビ：18 人) が回答]

- ① 大いに役に立つ ② 少し役に立つ ③ あまり役に立たない ④ 全然役に立たない



● 考察 大多数の生徒が「大いに役に立つ」「少し役に立つ」と感じており、その理由として記入されていたものに、「説明がすごく分かりやすい、とても重要なことを教えてもらえる、大学へ行くためには大いに役立つ、センター試験対策に役立つ、進学に向けた学習内容、模試などで高得点がとれるようになった、授業の復習や予習ができ、より理解が深まる、苦手教科の力が付く、町に出なくても塾の授業が受けられる」等といった内容で、学校の予習・復習や受験勉強に大変役に立っていることがうかがわれる。

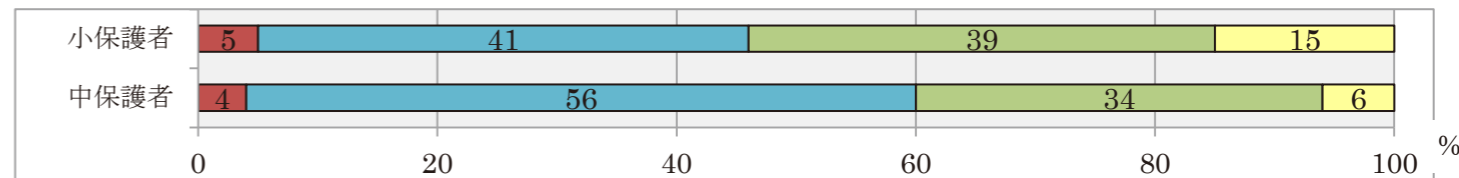
● 油木高校の魅力は何だと思いますか。

- ・生徒数が少ないので指導が行き届き、勉強に身を入れようと思えばいくらでも入れられる ・授業が濃い ・個性的な先生方
- ・少人数で集中しやすい ・先生と生徒の仲が良い ・先生に質問しやすい ・通信衛星授業が受けられる ・進学率が高い
- ・油木高校からも大学へ十分に行ける ・産業ビジネス科の全国的活躍で、科内が充実している(ナマズ、蜂蜜、農業クラブなど)
- ・農業関連の学習能力が高く、成果が大きい(多くの賞を受賞) ・良い成績を収めるすごい先輩がいる ・色々な面に積極的
- ・物事に一生懸命取り組むところ ・協力的で団結力がある ・みんなが挨拶をする ・人間関係がとても良い
- ・地域の人のつながりが多い ・町からの支援が素晴らしい ・楽しい行事 ・部活が充実 ……など

小・中保護者編

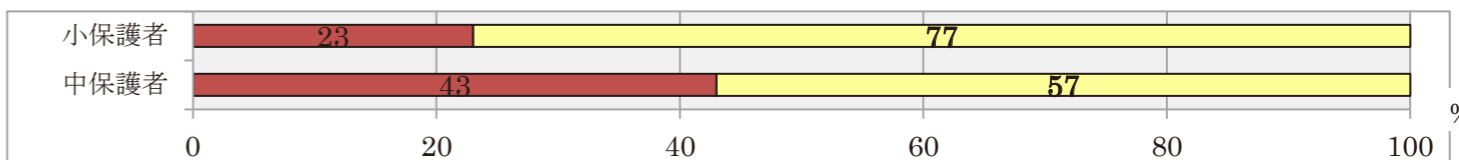
● 神石高原町連携型中高一貫教育について関心がありますか。

- ① 強い関心がある ② 少し関心がある ③ あまり関心がない ④ 全然関心がない



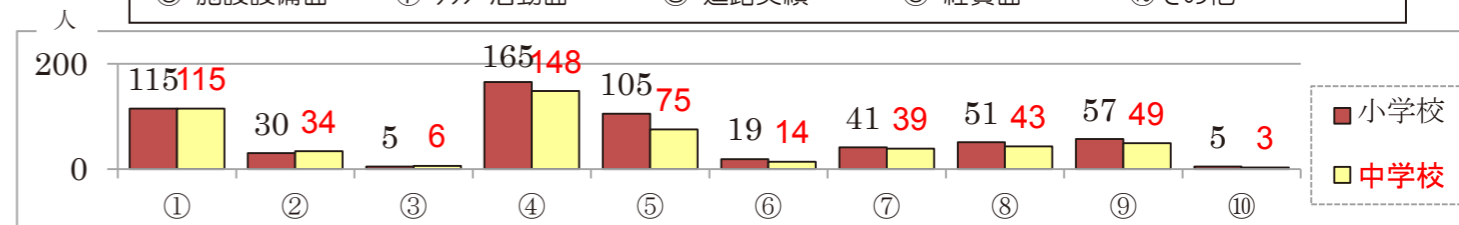
● 本町が油木高校の教育活動推進や保護者負担軽減のために助成(HSJ事業への補助金)していることを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない



● 子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の①～⑩の中から重要視したいものを順番に3つ選んでください。

- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 親や家族の薦め ④ 子ども本人の希望 ⑤ 教育内容面
- ⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他



● 考察 ・保護者の関心度を高めていくためにも、中高一貫教育の成果を積み上げながらアピールしていく必要がある。

・油木高校への町支援(補助金)が教育活動(学習・クラブ活動)の推進や保護者負担軽減になっていることをアピールしていく。

・進路選択で、小中保護者共に「子ども本人の希望」を最優先する傾向にあり、児童・生徒への理解や関心を深めていく必要がある。